



チューダー様式のS様邸。2階外壁のティンバーが個性を放ちながらも周囲の景観と調和している

**吉方位で動線もスムーズ**  
 S様ご夫妻がトガシホームを知ったきっかけは住宅の情報雑誌でした。それまでに様々な住宅展示場を見学したものの、住みたい家だと思えなかったとのこと。その後、チューダー様式が好みのテイストだと気づいても、S様ご家族が住むには、輸入住宅の展示場は広すぎるという印象をお持ちだったそうです。「でもトガシ

**吉方位で動線もスムーズ**

ホームさんのモデルハウスには現実感があって「私もこの輸入住宅なら住める」と思ったのです」と奥様は当時を振り返ります。

トガシホームで家を作ることを決めた後、奥様は完成現場見学会に積極的に参加して、理想の住まいのイメージを固めていきました。また、吉方位にご興味をお持ちで、間取りを自らお考えになり、図面を描かれました。すると、動線もとてもスムーズになったのです。例えばキッチンから仏壇のある畳のスペースまでほんの数歩なので、ご飯をすみやかにお供えすることができます。

また、奥様のお部屋は、吉方位の南東にあり「良い運気を蓄えられそう」と楽しそうにお話しされていました。  
 白い壁にグリーンが映えるリビングで「好きな空間で好きなものに囲まれて暮らす幸せを味わっています」と微笑まれる奥様。上質な暮らしへの想いと家族の方へのやさしさが、美しく結晶したお住まいです。



異国情緒が漂う家 第四章

エレガントで家族にやさしい  
**憧れの  
 チューダーで暮らす**

ピンクとホワイトをベースにした主寝室。ダマスク柄のクロスが、お気に入り

アイデアを  
 反映した家づくり

冬の澄んだ青空のもと、穏やかな陽の光りに包まれたS様邸は、イギリスの建築様式として知られるチューダー様式のお住まいです。S様ご夫妻とお嬢様、そしてお母様が新居で過ごされるようになって、約一年。冬も蓄熱暖房機一台で家中暖まりますし、夏はクーラー一台で十分涼しいです」と笑顔の奥様。さっそくそれぞれのお部屋を案内してくださいました。

玄関ドアを開けると、白い壁やドア、そして階段のアイアン手すりが、欧州の雰囲気を感じさせていました。室内や廊下には大小の窓がいたるところにあり、自然光が溢れています。また、ご主人と奥様のラッキーカラーであるピンクとグリーンを基調としたインテリアが、心地よく配置されていました。「奥様は室内装飾のセンスも素晴らしいうえに、お住まいに関するアイデアもたくさんお持ちで、勉強になりました」と営業の大沼さん。その一つがドアで仕切られている脱衣所と洗面所です。誰かが着替えていると

きや入浴しているときも、気兼ねなく洗面所を使えます。まさに女性ならではの発想です。「ほんのドア一枚のことなのですが、すごく違います。わが家には勤めている娘がいるので、家族といえども気が遣います。以前の家では、娘が入浴中のときに歯磨きができなくて、夜遅くまで起きていた」と奥様に教えていただいたことから、特別にお嬢様がいらっしゃるご家庭には、脱衣所を分けてドアをつけることをお勧めしています。みなさん「それは気づかなかった」と言って、とても喜んでくださっています」と話していました。

そして階段には、広めの踊り場があります。1階から重い荷物を運ぶとき、いったん休めてとても助かるとのこと。また、2階から降りるときも、その踊り場のおかげで自然にスピードを落とすことができます。かつてのお住まいは階段が急で、お子さんが小さいときにはよく転げ落ちていたそうです。



明かり採りにもなるステンドグラスは奥様がデザインしたもの



造作の手洗いカウンター。ひとつひとつ素材を選んだ



キッチンも白で統一し、グリーンをアクセントカラーに



白をベースにしたエレガントなリビングにグリーンが映え、爽やかな印象に



ロートアイアンの階段手すり



外構もヨーロッパの雰囲気に